

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1456	報告者	村上美恵子
年月日	2011年5月3日(火)～5日(木)	2万5千	二王子岳・上赤谷
山名	越後・二王子岳(にのうじだけ・1420m)		
体力度=3・普通 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=二王子神社 トイレ=神社にあり 展望度=よい			
二王子岳から飯豊大展望♪			
コースとタイム	二王子神社登山口(7:45)→一王子神社・一王子小屋(8:50-8:55)→定高山→油こぼし→二王子岳山頂(11:25-12:10)→油こぼし→定高山→一王子神社・一王子小屋(13:45-13:55)→二王子神社登山口(14:50)→五頭温泉「中喜屋」		
標高差	上り 二王子神社約300m～二王子岳1420m=約1120m 下り //		
参加者	L後藤隆徳、村山忠彦、佐々木和雄、石和加代子、村上美恵子		

越後湯沢の宿を4時45分に出発。関越自動車道から北陸自動車道を走り、磐越自動車道安田ICで降り二王子岳に向かう。

車窓からは田植えの準備を始めた田園風景の中を走り、今晚宿泊を予定している出湯温泉の看板を左手に確認し進む。しかし道が分かりにくくなってきて、人間ナビとなったM氏が地図を片手に左へ右へと指示を出しながら進むも、なかなか着かないので不安になったGリーダーが村人に声を掛け方向を確認。やっと出てきた二王子岳登山口の案内板に従って進み、細い道を登っていく。

7時30分二王子神社駐車場に到着二王子神社は立派で、ちょうど枝垂れ桜が満開でした。7時45分出発。登山口(水場、トイレあり)には登り4時間下り2時間半と書かれた案内板が出ている。

綺麗な水の流れる沢沿い登り、杉林を進むと、雪の重みで折れたのか?折れた枝がいっぱい落ちている。歩き易い登山道をゆるゆると登って行くと”1合目”の標識が杉の木につけられていた。



雪は豊富だ



そこから、しばらく登ると雪道になってきたがアイゼンは付けずに登る。林はブナの林に変わっていた。2 合目に水場がありその横には紅紫色のショウジョウバカマが咲いていた。喉を潤し、木の根や丸太の階段を登っていく。

8時36分、三合目の一王子神社に到着登ってくる時も虫が多かったが、ここでも虫が寄ってくる。あまりの虫の多さに、タオルを頭からかぶる事にした。5分ほど休憩して出発。

雪が大分多くなってきたが、雪がやわらかいので歩き易い。しかし、Gリーダーの歩きは早くて、アツという間に姿が見えなくなる。登山者が多かったので、足跡がしっかりついていたので安心してその足跡を辿って進む。

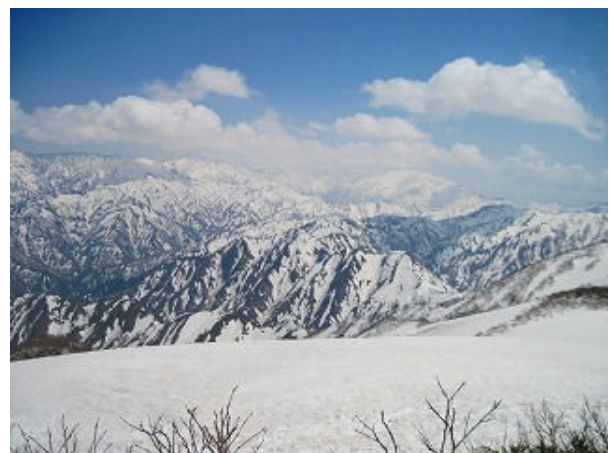
小さな丘を何度も登っては下り、山頂へ向かう途中、急坂が前に立ちはだかる。油こぼしの急坂だ！気合を入れて一步一步登る。稜線に出たところで休憩。疲れてひっくり返ると空が綺麗だった。地元の登山者と話をする。二王子山にはもう何度も登っているという。「この山に登れなかったら何処にも登れないよお」と気合を入れられ気を引き締め、再び歩を進める。山頂手前のカマボコ型避難小屋が見えてきた。後少しだ！気持ちが楽になった。

山頂直下の雪原に出た。二王子神社奥宮があり、右手に素晴らしい飯豊の景色が見えワクワクしてきて、山頂に急いだ！11時20分二王子岳（1,420m）到着山頂には”青春の鐘”があった。



二王子岳頂上

飯豊連峰遠望



サクサク下る

山頂からの展望は実に見事で、北股岳・飯豊本山・御西岳・大日岳などの雪を被った素晴らしい飯豊の峰々に大・大・大感動！！

先に山頂に到着していたGリーダーと風が強いので避難小屋の中で昼食以前御殿場で働いていたことがあるという新潟在住のSさんと交流昼食後山頂にて記念撮影をして下山開始。

しかし、飯豊の峰々が名残惜しくて、頂上直下の雪原にて皆、思い思いのポーズでの記念撮影会となってしまった。

12時10分再び下山開始。下山は雪が柔らかいので実に快適で、靴のかかとでザックザックと下って行ける。ただ私は、急な個所になると一気に腰が引けてしまう。困ったものです。

皆はそんな個所でも「とても気持ちがいいい〜♪」とにこにこ顔でザクザク下って行ってしまいますので、私は着いていくのに必死でした。

下山途中、Gリーダーの先輩Kさんが登ってきました。一緒に登る予定だったようですが待ち合わせが上手くいかず、別々に登ったのですが無事に会うことが出来ました。

下山後の約束をし、Kさんは山頂を目指し登って行き、私たちは登山口を目指して下山。

13:20頃小さな花をつけた枝が…マンサクだ！

Gリーダーから、春一番にまず咲く花だから……まず咲く→マズサク→マンサクと教わり、なるほどお〜！周りをみると他にも新芽を付けた枝が沢山ある。雪はまだたくさん残っているが、春は来ているのだと実感できる。

13時45分一王子神社まで下ってきた。休憩しながら長靴で登っていた、地元の登山者と話す。地元の方は長靴で登られる方も多いようだ。

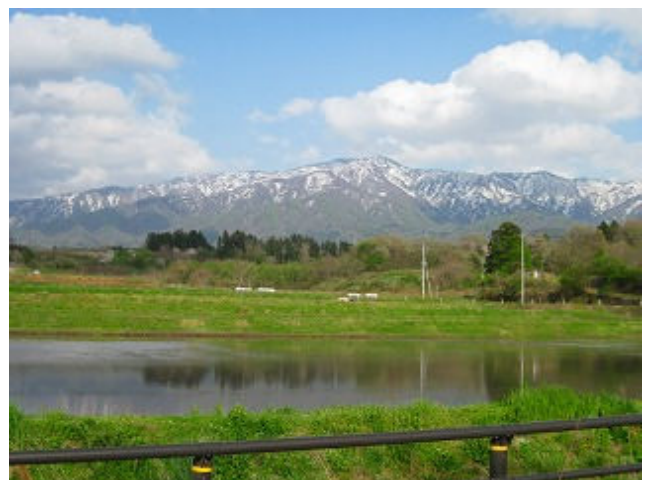
2合目の水場辺りでは雪解けの水で登山道がぬかるんでいた。そして、1合目の樹林帯まで下ってくると、朝登る時には開いていなかったキクザキイチゲが咲いていた。

他にイワウチワ・ミヤマカタバミ・エンレイソウ・ショウジョウバカマ・スマレサイシン・雪椿も可憐な花を咲かせていた。Gリーダーがニリンソウを見たいと沢沿いに目をやるが咲いていない。また、道路脇には、カタクリ・ミズバショウが咲いていた。



菊咲一華

二王子岳遠望



地元の登山者の話では今年は雪が多いとのことなので、季節が少し遅れているのかもしれないなどと話しながら下り、14:50分二王子神社登山口着今日は一日アイゼンなしで歩

く事ができた。

下山後今夜の宿のある五頭温泉郷、出湯温泉の旅館「中喜屋」に向かう。＜中喜屋＞新潟県阿賀野市出湯269 一泊二食＝¥8,550ー

ここで、Gリーダーの上司にあたるKさんと待ち合わせ。部屋でいろいろな話を伺い、楽しい時間を過ごさせていただきました。また、お土産の「笹餅」を頂きありがとうございました。帰りの車の中で頂かせてもらいました。美味しかったです。記録文中ではありますが、この場を借りて御礼を言わせていただきます。

また、五頭温泉郷、出湯温泉は秘湯と呼ぶにふさわしい山間の静かな場所にあり、温泉も旅館のおもてなしも、お料理もとても良かったです。

翌朝には白鳥が飛来する事でも有名な”瓢湖”も見に行く事ができ、旅気分も味わえた、楽しい春山山行となりました。ありがとうございました。

その他の記述（後藤）

1. 五頭（ごず）温泉、華報寺の共同浴場は、弘法大師に授かった温泉で、200ーで入れる。ラジウム温泉で、軟らかくアレルギーなどに効用が高いと評判。地元の方との交流も楽しかった。
2. 宿の夕食、朝食に「コゴミ」がでた。美味しかった。
3. 五頭山は、大同4年（809年）弘法大師によって開山された。
4. 二王子岳まで、1040Kmの旅だった。



新発田在住のKさん



華報寺

中喜屋の女将

